

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 吸引器用キャニスター 34858000
リセプタル排液吸引システム
(ライナー)

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

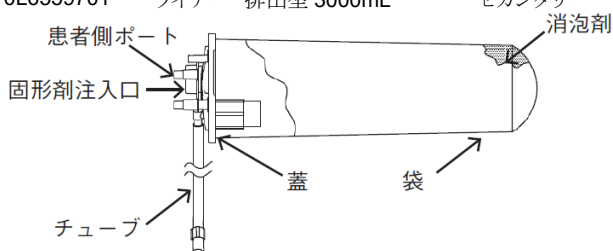
【形状・構造及び原理等】

*形状・構造

本品は手術、処置等により患者から排出する血液、体液等の排出液をセントラルバキュームシステムにより排液袋に溜め、衛生的に廃棄、処理することを目的に使用される袋である。

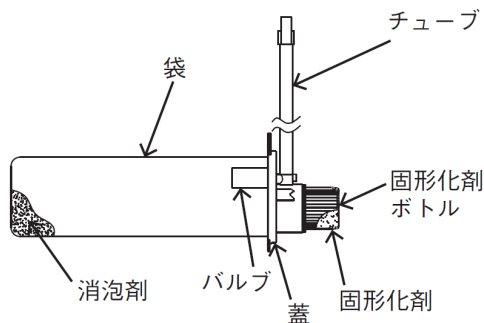
(1) ライナー

0L2138201	ライナー 排出型 1000mL	セカンダリー
13010S8201	ライナー 固形化剤入 1000mL	セカンダリー
0L6548201	ライナー 排出型 1500mL	セカンダリー
0L6579701	ライナー 密封型 1500mL	セカンダリー
0L6508201	ライナー 排出型 2000mL	プライマリー
0L6518201	ライナー 排出型 2000mL	セカンダリー
0L6589701	ライナー 密封型 2000mL	プライマリー
0L6599701	ライナー 密封型 2000mL	セカンダリー
0L6569701	ライナー 排出型 3000mL	プライマリー
0L6559701	ライナー 排出型 3000mL	セカンダリー



図はライナー 排出型 3000mL セカンダリー

13110S8201	ライナー 固形化剤一体型 1000mL	セカンダリー
53121S8201	ライナー 固形化剤一体型 2000mL	プライマリー
53120S8201	ライナー 固形化剤一体型 2000mL	セカンダリー
33131S8201	ライナー 固形化剤一体型 3000mL	プライマリー
33130S8201	ライナー 固形化剤一体型 3000mL	プライマリー

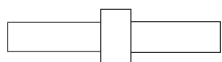


図はライナー 固形化剤一体型 2000mL セカンダリー

(2) リセプタルテーパー

434730415 リセプタルテーパーMM

院内セントラルバキュームシステム、キャニスター(別売)及びライナーをチューブで接続する際に必要に応じて使用するチューブ径の変換アダプタである。



(3) 追加エルボーアダプタ
43494-25 エルボーアダプタ



・未滅菌

【使用目的又は効果】

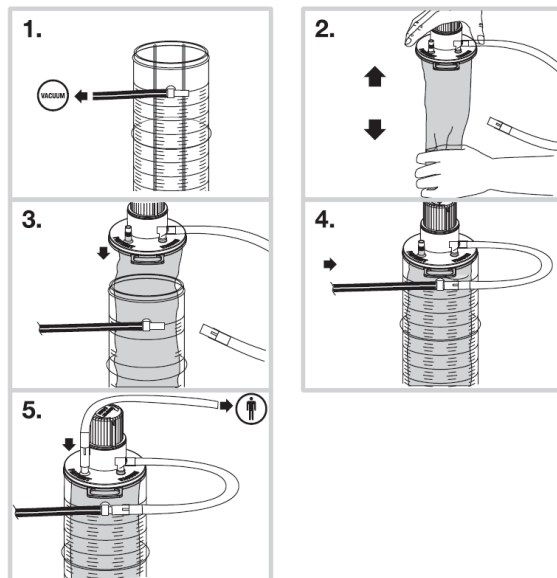
〈使用目的〉

体液の回収のため吸引器とともに使用するライナー、キャニスター及びその付属品である。

【使用方法等】

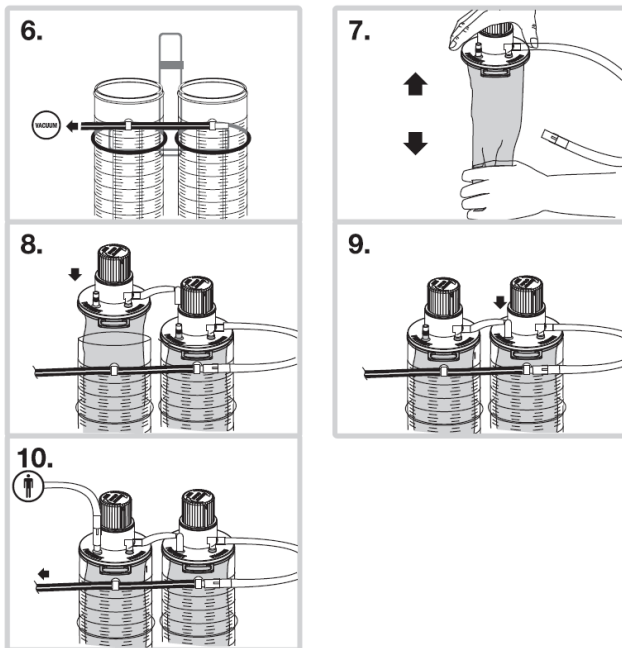
【A.ライナーを単独で使用する場合】(ライナーにはセカンダリーライナーを使用する)

1. 真空配管側の吸引ラインをキャニスターティーの片側に接続します(図1)。
2. ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします(図2)。
3. ライナーの蓋のタブ部分をキャニスターティーの真上に合わせ、キャニスターにしっかりと取り付けます(図3)。
4. ライナーのチューブをキャニスターティーのもう一方に接続します(図4)。
5. ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者側ポートに指を置いて吸引を確認します。
6. 直接又は追加エルボーアダプタで患者側ポートに患者側チューブを接続し、使用していないポートがある場合は、その全てにキャップをします。
7. 患者排出液の吸引を行います(図5)。
8. おおよその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。キャニスターの最大容量ラインを超える液体レベルにならないようにします。



【B.連結使用の場合】

- 1 番目のキャニスターティーの一方を真空配管側の吸引ラインに接続します。2 番目以降のキャニスターをキャニスターティー経由でチューブを相互に連結します(図 6)。
- ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします(図 7)。
- 最後のキャニスターにセカンダリーライナーをセットし、ライナーチューブをキャニスターティーのもう一方に接続します。他のキャニスターにはシャットオフバルブ無しのプライマリーライナーをセットします(図 8)。
- プライマリーライナーのチューブを隣接するライナーの患者側ポートに接続します(図 9)。連結された全てのライナーに必要なに応じて繰り返します。
- ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者ポートに指を置いて吸引を確認します。
- 直接又は追加エルボーアダプタで 1 番目のプライマリーライナーの患者側ポートに患者側チューブを接続し、使用していないポートがある場合には、その全てにポートキャップをします。
- 患者排出液の吸引を行います(図 10)。
- おおよその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。



【C.トローリーを使った連結使用の場合】

- 1 真空配管側の吸引ラインに接続します。
- ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします。
- 最後のキャニスターにセカンダリーライナーをセットし、ライナーチューブをスタンドフレームにセットされたキャニスターティーに接続します。他のキャニスターにはシャットオフバルブ無しのプライマリーライナーをセットし、スタンドフレームにセットされたキャニスターティーはスタンドフレームに付属のプラグでキャップします。
- プライマリーライナーのチューブを隣接するライナーの患者側ポートに接続します。連結された全てのライナーに必要なに応じて繰り返します(図 11)。
- ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者側ポートに指を置いて吸引を確認します。
- 1 番目のプライマリーライナーの患者側ポートに患者側チューブを接続し、患者排出液の吸引を行います。
- おおよその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。

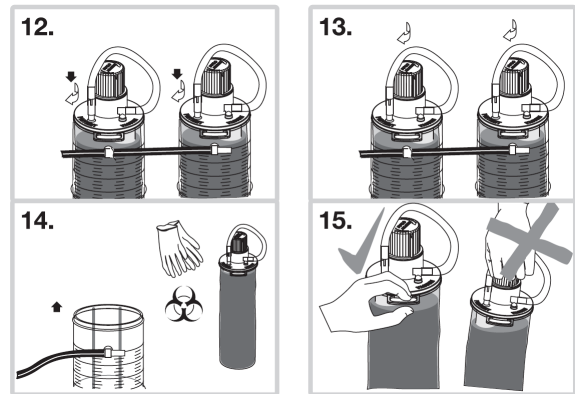


図11

※【D.使用後の処置】

排液吸引終了後、以下の手順にて処置を行います。吸引圧をかけた状態で廃棄手順を進めてください。吸引圧のオフは固形化剤投入後に行ってください。

- 1 吸引装置の電源はオンのままで、患者側ポートから患者側チューブを外し、廃棄します。
- 1 番目のプライマリーライナーのチューブを隣接したライナーの患者側ポートから外し、1 番目のプライマリーライナーの患者側ポートに接続し、下向きにねじこみ、密栓をします。必要に応じて、連結された 2 番目以降のライナーも繰り返します。
- 最後のセカンダリーライナーのチューブをキャニスターティーから外し、患者側ポートに接続し、下向きにねじこみ、密栓をします(図 12)。
- 排出型: 必要に応じて、ライナーの固形化剤注入口から固形化剤を入れ、排出液を固形化させます。
- 密封型及び固形化剤入: 密封処理のみ(固形化剤注入口はありません)。
- 一体型: 排出液を固形化させるため、固形化剤のボルトを、止まるまで時計回りに回転させてください。固形化剤が完全に落ちない場合は、反時計回りに少し戻し、再度、時計回りに回転させてください(図 13)。
- 吸引装置の電源をオフにします。
- ライナーの蓋のタブ部分に親指をかけ、キャニスターから取り外します(図 14)。
- 使用済みライナーは、安全に取り扱ってください(図 15)。
10. 院内の規程に従って、ライナーと内容物を廃棄します。



〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- 1) ライナーのサイズに合ったリセプタル排液吸引システムキャニスターと併用すること。
- 2) 吸引してもライナーがふくらまないときは、蓋やキャニスターティーがしっかりと装着されているか確認すること。
- 3) プライマリーライナーのみを使用している場合は、チューブとキャニスターティーの間に外付シャットオフバルブをセットすること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) キャニスターの内部を乾燥させておくこと[ライナーのはり付きを避けるため]。

- 2) ライナーはよくしごいて、伸ばしてから使用すること。
- 3) セカンダリーライナーのキャニスターの一番上の目盛まで吸引しないように注意すること[シャットオフバルブが作動した場合、患者側サクシオンチューブ、及びライナー連結チューブ内に排液が残り、処理が困難になる可能性があるため]。
- 4) 吸引圧をかけた状態で廃棄手順を進めること[ライナーがキャニスターの中で大気圧に押されて縮み、ライナーが排液で完全に満杯になり、ライナー上部から溢れる可能性があるため]。

〈不具合・有害事象〉

本品の使用に際して、以下のような不具合が発生する可能性がある。

* 1) その他の不具合、液漏れ

- ・ ライナーの破損
- ・ 患者側ポートの破損
- ・ キャップの破損
- ・ 固形化剤の漏れ
- ・ 排出液の固形化不良

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

本品を保管するときは次の事項に注意すること。

- ・ 水濡れ、高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
- ・ 保管時(運搬時も含む)は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

**〈製造販売業者〉

ICU メディカルジャパン株式会社

〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

**〈製造業者〉

アムシノ インターナショナル、インク

Amsino International, Inc.

**〈国名〉

アメリカ合衆国